

		<p>グループディスカッション <ワーク1> 「それでは、お子さんのあいさつの様子について出し合いしましょう。」</p> <p>・恥ずかしがって進んでできない。 ・大きな声であいさつして、近所の方にほめられる。 など</p> <p><ワーク2> 「みなさんのお子さんの、それぞれの様子が分かりました。では、あいさつを自然にできるようにするために、心がけたり実践したりしていることを交流しましょう。」</p> <p>・朝起きたとき、夜寝るときのあいさつを家族の約束にしている。 ・できなくても無理強いせず、自分がやってみせる。 など</p>	<p>◇どんな話が出されているか、簡単にメモをとるとよいですね。話している方を見て、うなずきながら聞くようにしましょう。</p> <p>◇自由に家庭の様子を話せるように、進行役の方が困っていることや悩んでいることを話すと、他の参加者も意見を出しやすくなります。</p> <p>◇グループごとに交流する際、「自分にもできそう」、「よい方法だなあ」などと思った意見は、ワークシートの「いいね!」の欄にメモを取るとよいことを、事前に伝えておきましょう。</p>
<p>00:10</p>	<p>ふりかえり</p> <p>おわりのことば</p>	<p>「いかがでしたか。それぞれの家庭で心がけていらっしゃることをお聞きできてよかったです。わが家では、外に出たときに、大人が積極的にあいさつする姿を見せたら、子どもも自然に一緒にするようになりました。楽しくあいさつを身につけるために、こんな『あいさつカレンダー』を使ってみてはいかがですか？色ぬりしたりシールをはったり、親子で楽しみながら取り組めるとよいですね。」</p> <p>「あいさつは日常なことなので、ときにはできないこともあるかもしれません。子どもの性格などを考えながら、神経質になり過ぎず、いろいろな方法で試していらっしゃるといふみなさんのお話には感心しました。」</p> <p>「みなさん、今日参加されていかがでしたか。毎日、お子さんを目の前にして奮闘していらっしゃる皆様方にとって、少しでも気持ちが軽くなったり、何かヒントを得たりしていただけたならうれしいです。お話を伺っていて、本当にみなさんよくやっていたらいいなあと思いました。これからも、お困りのことがあれば、一人で悩まずにこのような機会を活用し、情報交換をしていきましょう。」</p>	<p>◇出された意見をまとめたり、結論を出したりする必要はありません。自分自身、こんなヒントをもらったというように、同じ立場で話すとよいでしょう。</p> <p>◇資料編や「あいさつカレンダー」を印刷しておいて配付しましょう。</p> <p>◇最後は、参加者の日頃のがんばりを認めることのみとし、指示やアドバイスをすることは避けましょう。</p>

